

I. 見逃してはいけない検査データ～病気を考える

科目No.: 08-306

講義名: II. 知っ得！～これからの感染対策を考えるために

開講日	2008年12学期 木曜日 18:30-20:30	講義場所	東京キャンパス	医	技	保
コーディネーター	臨床分子情報医学 准教授 田中 靖人			●	-	-
				※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】I. いったん臨床現場を離れた医師や臨床検査技師、看護師を対象に各種検査の基本的な理解を深め、現場復帰を促すカリキュラムです。各種検査に関する基礎的な知識のみならず、最低限知っておきたい検査データの解説を実際の臨床に即して行う。II. 感染症の診断・治療・予防が飛躍的に進歩した今日においても、多剤耐性菌の蔓延や高度医療の発達に伴う日和見感染の増加など様々な課題が山積している。特に、院内感染対策は重要であり、医療に携わる関係者は常に最新の情報を含む感染症の知識を身につけ質の高い医療等を提供する必要がある。</p> <p>【期待される成果】I. 実際の臨床の場で必要となる各種検査に関する基本的な知識を得るために、最低限必要な講義内容を厳選している。すぐに臨床の場で役立つ基礎知識を提供し、医療職及び医療に間接的に携わる方の復帰を支援する。II. 感染症の診断・治療・予防ならびに医療関連感染対策を習得することにより、適正な医療提供(個人防衛)、耐性菌防止や医療安全(集団防衛)、医療資源の有効利用(社会防衛)を目指す。</p>
----------------------------	--

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
基礎コース	1	見逃してはいけない検査データ～Reversed CPC	基本的な検査データの解釈の仕方から見逃しがちな検査所見を臨床症例に即して解説する。実際の症例の検査データから病態の解釈、診断に至る過程をReversed CPC形式で一緒に考えたい。	12月4日	准教授 田中 靖人 臨床分子情報医学
	2	呼吸器診療の入り口ー胸部X線	呼吸器疾患の発見動機は、咳や息切れなどの自覚症状の他に、しばしば胸部X線の異常陰影による。胸部X線写真には様々な陰影が写し出され、非常に情報が多い。異常陰影を見逃さないための基本的読影方法を解説する。	12月11日	助教 沓名健雄 呼吸器内科
	3	心電図の基本的な読み方 これだけは見逃さない	心電図の有用性と限界について学習し、正常心電図を理解するとともに、専門医に紹介すべき心電図異常、治療を要する不整脈を判読できるようにする。	12月18日	准教授 土肥 靖明 循環器内科
	4	X線CT検査の基本 これだけは見逃さない	CTは連続する断面画像であり、単純X線写真と比較し、読影の難易度は決して高くはない。一方、画像再構成や表示条件に関する基本的知識なくしては、大きな落とし穴が存在する。今回はCT読影基本について臨床症例を交えて紹介する。	12月25日	准教授 原 真咲 中央放射線部
	5	知っておきたい検尿・尿沈渣	腎機能のみならず体内に過剰に産生された血中の物質も排泄され、病期の初期診断においては尿の定性検査及び尿沈渣は必須であり、その臨床的意義を学習する。また、最近注目されているCKD(慢性腎臓病)についても学習する。	1月8日	准教授 吉田 篤博 人工透析
応用コース	6	知っておきたい血液データ～	一枚の血液標本、骨髓標本を検鏡することにより、病気の診断、治療、管理などに必要な多くの情報を得ることができる。血液像および骨髓像の正しい見方を学習する。	1月15日	講師 石田 高司 血液・膠原病内科
	7	わかりやすい微生物検査～	検体採取からグラム染色、培養検査など臨床微生物検査の方法を解説し、実際の臨床診断に至る過程を学習する。グラム染色では何故、ブドウ球菌は濃く染まり、大腸菌は薄く染まるのか?など、わかりやすく解説する。	1月22日	講師 立野 一郎 細菌学
	8	消化器診療の入り口ー消化管造影・内視鏡検査	食道・胃・十二指腸・大腸の消化管造影検査と、上部、下部消化管内視鏡検査の概要、前処置法、注意点などを実際の症例を用いて解説する。	1月29日	講師 神谷 武 消化器内科
	9	知っておきたい内分泌検査～ 血液検査から頸部超音波検査	甲状腺、副甲状腺および頸動脈の正常像を理解する。甲状腺では結節性病変の鑑別診断、甲状腺機能亢進症や低下症の各疾患の特徴的所見、頸動脈では動脈硬化所見の把握を目的とする。	2月5日	准教授 岡山直司 代謝・内分泌内科
	10	知っておきたい心臓超音波検査	心エコー法で何をを知ることができるのか?患者の治療にどのように生かすことができるのか?特に心不全管理への応用について解説します。	2月12日	准教授 大手 信之 循環器内科
感染対策	11	看護援助と感染予防策	医療現場における看護援助の種類はさまざま連続性がある。今回は組織的な感染予防策の実際と看護援助における手指衛生など、細菌学的検証を含めながら述べてみたい。	2月19日	教授 遠藤 英子 東邦大学医学部看護学科
	12	感染症と予防の学び直しー インタラクティブ方式を用いた 感染対策講習ー	フィンランドで実践され評価の高いリアルタイム双方向コミュニケーション型インタラクティブプレゼンテーションシステムを用い、参加型の感染対策講習を実践する。	2月26日	病院准教授 中村 敦 名古屋市立大学 医学研究 科腫瘍・免疫内科学
	13	消化器感染症の現状と対策、 治療	昨今アウトブレイクが話題となっているノロウイルスや、最近では重症例、院内感染菌としても注目されている Clostridium difficile 感染症などの消化器感染症について紹介する。	3月5日	講師 加藤 秀章 名古屋市立大学 医学研究 科 法医学
	14	適切な検体採取と院内感染 対策における検査室の役割	適正な診断を得るために心がけてほしい検体採取、提出方法を解説するとともに、感染対策チームに関わる検査技師の役割について紹介する。	3月12日	係長 脇本 幸夫 名古屋市立大学病院 中央 臨床検査部
	15	院内感染対策システム	当大学病院で感染対策専任職を務める講師により、当院における院内感染対策のシステムや活動実態について紹介する。	3月19日	主査 福留 元美 名古屋市立大学病院 医療 安全管理室